

熟語筆記回答対戦ソフトウェア Ver.1.0

取扱説明書

2001年6月25日
東京農工大学工学部中川研究室

1. 概要

本プログラムは、画面に表示された 36 個の漢字を用い、熟語を作成・回答していくアプリケーションです。同時 2 入力に対応した電子白板ドライバ「iDriveMe Ver.1.20」を利用することにより、2 人で同時に回答・対戦することができます。なお、本プログラムの推奨動作環境は iDriveMe の推奨環境に準じます。

2. インストール

専用のインストールプログラムが用意されていますので、「Setup.EXE」を実行し、画面の指示に従ってインストールを行ってください。その後、4 章で説明するデータ形式に従って入力した単語データを、アプリケーションをインストールしたフォルダの中にある Data フォルダにコピーして下さい。

3. 操作方法

スタートメニューに登録されている「熟語筆記回答対戦ソフトウェア」を実行すると、図 1 のような画面が表示されます。

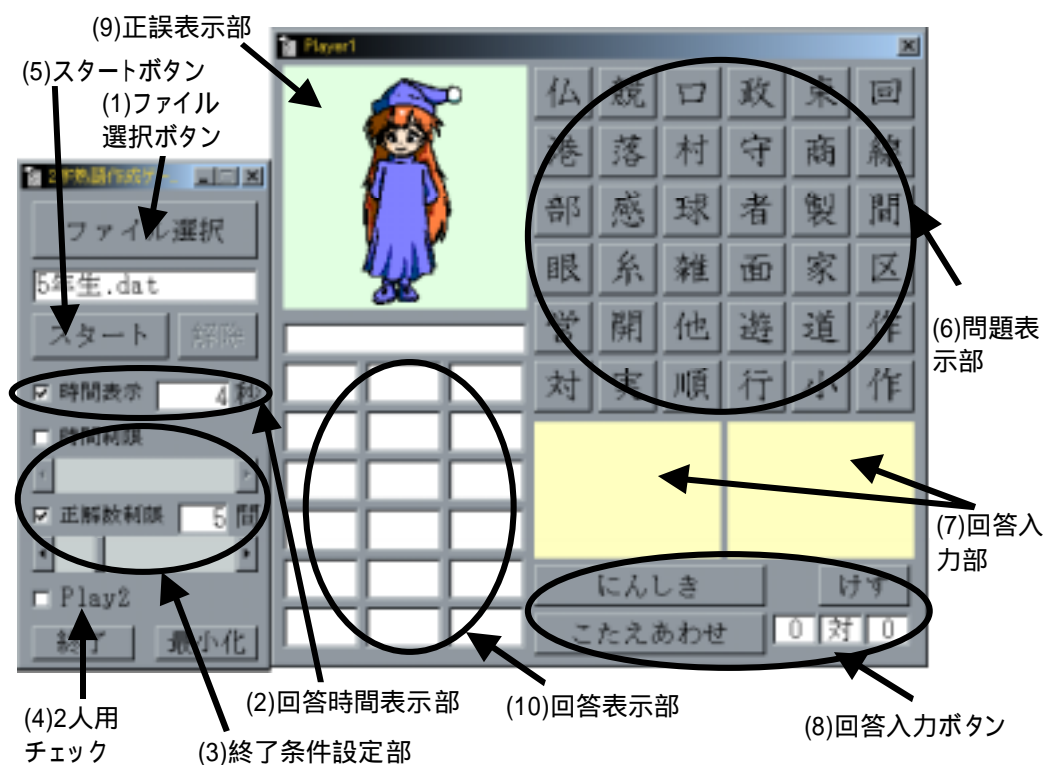


図 1 熟語筆記回答対戦ソフトウェアの全体図

最初に(1)ファイル選択ボタンを押し、メニューの中から出題と正誤判定に利用する単語データ(データ形式は 4 章を参照してください)を選択します。次にスタートしてからの経過

時間を表示するかどうかの設定と、勝利条件(終了条件)の設定を行います。(2)回答時間表示部の時間表示チェックを外すと、スタートからの経過時間を表示しなくなります。(3)の終了条件設定部では、スタートからの経過時間と正解数によって勝利条件(終了条件)を設定することができます。たとえば時間は無制限で、5問正解したら終了という設定にしたい場合には、時間制限チェックを外し、正解数制限チェックをチェックします。さらに、正解数制限を設定するためのスクロールバーを操作し、正解数制限を5問に設定します。また、2人対戦で行いたい場合には、(4)2人用チェックをチェックすると、回答用のウィンドウが2つ表示されます。

以上の設定後(5)スタートボタンを押すと、(6)問題表示部に36文字の漢字が表示され、学習がスタートします。

回答者は、(6)問題表示部に表示された漢字を2文字組み合わせ、単語を作成していきます。作成した単語は、(7)回答入力部に手書きで書き入れます(図2)。



図2 手書きによる回答例

回答入力後、(8)回答入力ボタンの中のにんしきボタンを押すと、手書き文字が認識され、その結果が(7)回答入力部に表示されます。認識結果が間違っている場合には、(7)回答入力部をタップすると、次の認識候補が表示されます。回答を書き直す場合には、けすボタンを押すと回答が消去されます。正しく認識された後に、こたえあわせボタンを押すと、回答の正誤が(9)正誤表示部に表示されます(図3)。



図 3 正誤表示

正解の場合には、(10)回答表示部にその単語が表示されます。また、一度利用した漢字は、(6)問題表示部の表示が淡色表示に変化し、その漢字を再度利用することができなくなります。回答者は、最初に設定した勝利条件(終了条件)を満たすまで回答を繰り返します。

4. データ形式

本アプリケーションの実行には単語データが必要です。1行に1つの単語を入力し、拡張子を「.dat」にして保存して下さい。本アプリケーションは、この単語データに含まれる漢字を出題し、このデータに含まれる単語を正解と判定します。

(入力例)

糸口

糸車

糸目

・

・

・